

甲府城の今昔

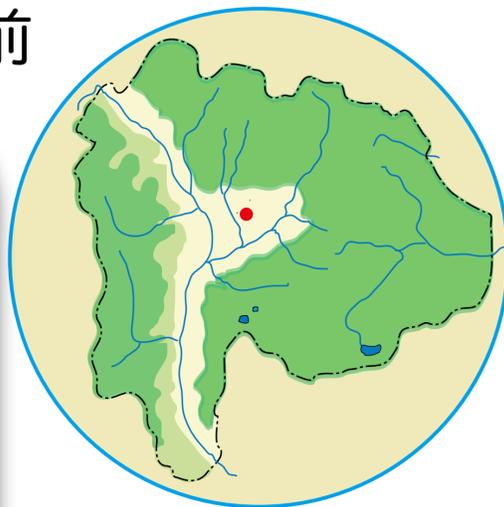
今から約420～140年前

甲府城の特徴

- 東日本有数の高い石垣 いしがき
- 金箔のついた瓦 きんぱく
- 歴代の城主と甲府勤番 れきだい じょうしゆ こうふきんぱん

柳沢氏の時代

この絵図は「楽只堂年録 173巻」に納められています。五代将軍徳川綱吉の御側用人柳沢吉保が、甲斐国を拝領した宝永2(1705)年ころに描かれました。当時の城内の様子がよく分かる史料です。このころに、城郭や城下町の大規模な再整備が行われました。



歴代の城主

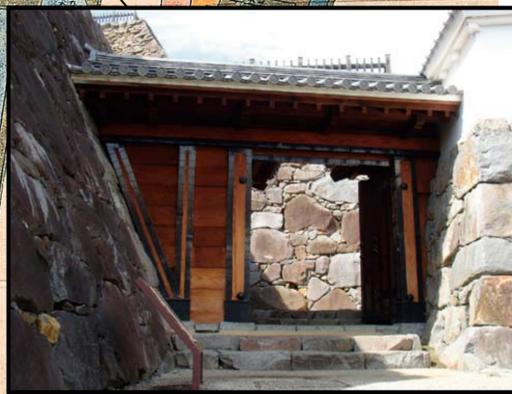
- 徳川家康 (城代・平岩親吉)
- 羽柴秀勝 (豊臣秀吉の甥)
- 加藤光泰
- 浅野長政・幸長
- 徳川家康 (城代・平岩親吉)
- 徳川義直
- 幕府直轄 (甲府城番)
- 徳川忠長
- 幕府直轄 (甲府城番)
- 徳川綱重・綱豊 (六代将軍)
- 柳沢吉保・吉重
- 甲府勤番支配～



山手門



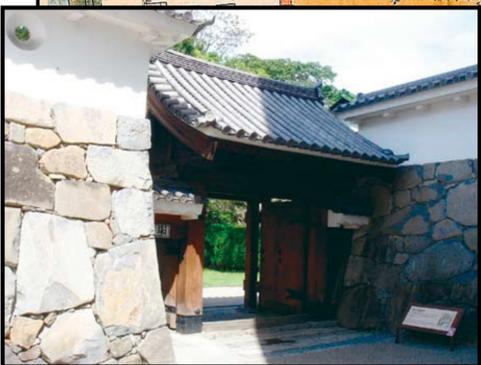
稲荷門



稲荷門



内松陰門



鍛冶曲輪門

柳沢文庫保存会蔵 *無断転用・掲載を禁ず